

種目【家庭】調査研究資料

調査項目	着眼点	調査の方法
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1) 資質・能力の三つの柱(「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 資質・能力をバランスよく育むために、どのような構成になっているか。 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、どのような構成・配列上の特徴があるか。
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 他教科等及び学年相互間の関連を図るために、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。 学年内及び学年間の系統性・発展性を意識しながら学習を進めるために、どのような構成・配列上の特徴があるか。
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 学びを深めるための学習活動や資料として、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。 主体的な家庭実践につなげるために、どのような題材の構成・配列上の特徴があるか。
2 岐阜県教育振興基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的な文化の理解に資する資料として、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。 ふるさとへの愛着と実践的な態度を育むために、どのような構成・配列上の特徴があるか。
	(2) ICT を活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な学習を進めるための動画コンテンツとして、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。
	(3) 多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な家庭実践を促すために、どのような課題例や実践例が取り上げられ、分量はどのようなようであるか。 家庭での実践を充実させるために、どのような構成・配列上の特徴があるか。
3 印刷・製本等	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさ、重量、ページ数はどのようなようであるか。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> 障がいやその他の特性の有無にかかわらず、活用しやすいものになっているか。また、写真の印刷状況はどうか。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 安全・防災指導に関わるマークの分量や指導内容はどのようなようであるか。

「調査項目」、「着眼点」の根拠
<ul style="list-style-type: none"> ■小・学習指導要領解説総則編 P 3 4 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 (1) 知識及び技能の習得 (2) 思考力、判断力、表現力等の育成 (3) 学びに向かう力、人間性等の涵養 ■小・学習指導要領解説総則編 P 4 8 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること ■小・学習指導要領解説総則編 P 7 6 資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めること
<ul style="list-style-type: none"> ■岐阜県教育振興基本計画 第3次岐阜県教育ビジョン基本方針 P 1 0 1-①、⑥ 3-⑫、5-⑳ 2-⑦~⑩